

X - ガイド 付属品（X - クリップ）

再使用禁止

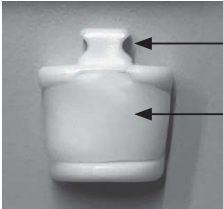
H183C

【禁忌・禁止】

再使用禁止

＊ ＊ 【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造



トラックアーモ接続部

熱可塑性樹脂

・ Xクリップ

種類	製品番号
Xクリップ キット 12pcs	XNVP008381
Xクリップ（サージェリークレジットなし）	XNVP009083

・ 原材料

部材	原材料
Xクリップ本体	プラスチック
熱可塑性樹脂	熱可塑性樹脂

2. 原理

Xクリップは、歯科インプラント埋入手術のナビゲーションにおいて、解剖学的指標を示すために使用するものであり、パシエントトラックアーモを接続して使用する。

【使用目的又は効果】

本品は、位置情報を表示することで歯科インプラント埋入手術の支援に用いる。トラッキングシステムは光学式である。

【使用方法等】

- Xクリップを60～71℃の温浴に約3～5分間入れる。
- Xクリップの熱可塑性樹脂が透明になったら温浴から取り出す。
- Xクリップを約1分間放置し40℃まで冷ます。
- トラックアーモ接続部を頬側に向ける。
- Xクリップを装着対象の3歯にまっすぐ挿入し、歯をXクリップのプラスチック面に着くまで押し、印象を取る。
- 患者の印象を取り終えたら、Xクリップを冷浴に入れて、熱可塑性樹脂が白くなるまで冷却させる。
- Xクリップを冷浴から出し、患者に正確に装着できることを確認する。Xクリップがしっかりとフィットし、簡単には動かないことを確認する。
- Xクリップは患者の歯に装着した状態でCTスキャンを行う。
- Xクリップをパシエントトラックアーモに装着し、Xガイドのナビゲーション手術を行う。

（使用方法等に関連する使用上の注意）

- Xクリップは、歯科医がインプラントを取り付ける側の歯列弓に装着する必要がある。
- Xクリップは、ドリル加工に干渉しない場所に装着する必要がある。
- Xクリップは、歯科医や助手の手または器具に遮られないように装着すること。
- Xクリップを取り外すときは揺さぶらないこと。

- 複数のXクリップを同じ歯列弓に装着する場合には、それらを接触させないこと。
- ブリッジのボンティックに装着することはできるかぎり避けること。装着する場合は、Xクリップが固定しないようにワックスをボンティックの下に詰めること。Xクリップを取り外すのが困難と考えられる場合は予めアンダーカットを取り除くこと。
- 歯列矯正ワイヤを使用している患者の場合、Xクリップを使用する間だけワイヤとブラケットを取り外すこと。それを取り外せないと、Xクリップを装着することはできない。
- Xクリップがしっかりと取り付けられていることを確認する。取り付けがゆるかったり、不適切だったりすると、ナビゲーションの際にドリルが正しくガイドされなくなる。
- Xクリップは印象を取った位置に取り付けられる。
- トラックアーモ接続部を押さえてXクリップが揺れたり、動いたりしないことを確かめる。動くようであれば、印象をやり直すこと。
- 装着する場所が、アンダーカットや短い臨床歯冠がないため実際には使用できない場合には、別の場所をみつけて、印象をやり直すこと。
- Xクリップの誤飲を防止するために縫合糸を結び付け、他方をトラックアーモマウントに結び付けることを推奨する。

【使用上の注意】

- 重要な基本的注意
Xクリップは、アクリル製のプロビジョナルレストレーションには装着しないこと。アクリルとは接着するので、取り外すのが難しくなる。
- 動揺歯に本品を装着しないこと。
- Xクリップは再使用禁止であり、印象後60日経過している場合には使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 品質保持のため高温、多湿、直射日光の当たる場所を避け、室温で清潔な場所に保管すること。
- 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：エンピスタジャパン株式会社
電話番号：0120-147-118
製造元：X-Nav Technologies, LLC
国名：米国

取扱説明書を必ずご参照ください。